

主な議案等の討論

平成27年度 一般会計補正予算

【議案内容】

当初予算に、八溝山周辺地域定住自立圏における連携事業に係る予算、人口減少対策の一環として地方創生先行型交付金を活用した日本版C R C 導入調査業務に係る費用、地域おこし協力隊員増員に要する費用などのため、1億2078万円が追加され、総額155億9678万円とする。

【反対・小野曜子議員】

本予算では広島県の原爆式典への中学生派遣事業など意義のある賛成すべき事業もあるが、一方で、マイナンバー制度に関する予算が盛り込まれ、情報不正使用の懸念が強く指摘されている。また国はプライバシー侵害の危険が高いマイナンバーの利用範囲拡大を狙っており、市民の暮らし、財産を守る立場から反対する。

【賛成・大島光行議員】

本補正予算は、当初予算で見込めない国・県の補助事業と町有施設の修繕等を編成するものである。更に、主な事業は、八溝山周辺地域定住自立事業・人口減少対策事業や、新設した「ふるさと定住課」「子ども未来課」の事業実施経費である。よって、本補正予算について賛成する。

殺生石伝説つながりから

会津美里町と 友好都市協定へ



殺生石伝説の縁で交流を続けている那須町と福島県会津美里町は、10月15日に友好都市協定を締結しました。(併せて、災害時における相互支援に関する協定も締結)

調印式は町内のホテルで行われ、会津美里町からは渡部英敏町長、横山義博議長、那須町からは高久勝町長、平山幸宏議長並びに両町議会関係者及び職員が参加しました。

協定の締結により両町の特産物等の販売促進による産業振興や教育文化、スポーツなどの多角的交流、観光を含めた交流人口の促進、また災害時の相互支援による迅速な復興などでも協力していくこととなります。



栃木県那須町 福島県会津美里町
友好都市協定書等調印式

殺生石において「きゅーびー」と各町長、議長

ぼうちょう席

伊王野上町

佐藤

久さん

幅広い分野の 政策質問を期待

昨年から何度も議会を傍聴しているが、今年的一般質問は質問者が多く活気が感じられました。特に、新人議員が半数もいるのに全員が一般質問を経験し、これからの活躍を期待します。

しかし、一般質問内容が片寄る傾向がみられ、特定の課に集中してしまうのは残念です。今後は、議員間で質問事項を調整していただき、町発展のために、町政全般にわたり質問し、幅広い分野の政策や意見を聞きたい。

少子高齢化が進む中で今年度から新設されたふるさと定住課や子ども未来課の事業は、まだ、理解が乏しく早急な実施内容が求められます。特に空き家の増加が目

立ち、地域の課題になっていきます。

今回も議会を一日傍聴し、毎回思っていました。傍聴席の椅子が実に狭く座りにくいため、傍聴席の改善を考えてはいただけないでしょうか。

これからも座りやすい傍聴席で、那須町の未来を語る意見が聞きたいと思えます。

